

## 主な検討事項（案）

### ■これからのコミュニティ・スクールの在り方

- 学校を核とした地域づくりを進めていくうえにおいて、コミュニティ・スクールの地域における位置付けについてどのように考えるか。
- 学校や地域が抱える課題が多様化・複雑化する中、これからのコミュニティ・スクールに求められる役割・機能はどうあるべきか。
- 「社会に開かれた教育課程」の実現において、教育課程を介して学校と地域がつながり、地域とともにある学校づくりを進めるために、コミュニティ・スクールはどのような役割を担うべきか。

### ■コミュニティ・スクールの設置促進、活動の充実方策

- コミュニティ・スクールの導入状況について、地域による取組状況の差を解消するために、どのような方策が考えられるか。特に、未導入地域において関係者の理解を得ながら導入を進めていくための方策として、どのようなことが考えられるか。
- 各都道府県単位での取組を広め、伴走体制を充実させるために、どのような方策が考えられるか。
- コミュニティ・スクールの効果的な運営を継続するとともに、地域学校協働活動との一体的な取組を進めるため、どのような方策が考えられるか。特に、地域と学校をつなぐコーディネーターの役割を担う地域学校協働活動推進員等への支援方策として、どのようなことが求められるか。
- 各自治体における重要施策としてコミュニティ・スクールが位置付けられるよう、首長部局との連携、首長の理解を促すための方策として、どのようなことが考えられるか。
- コミュニティ・スクールがより効果的に学校運営の改善に資するものとなるよう、学校評価との一体的な運用を進めることについてどのように考えるか。
- 地域住民等が学校運営などについて協議し、意見を述べる会議体であるいわゆる「類似の仕組み」について、法律に基づく学校運営協議会制度への移行を促すことについて、どのように考えるか。

### ■その他、地域と学校の連携・協働に関することについて

- 各地域における地域と学校の連携・協働をより充実させるために、どのようなことが考えられるか。